

令和5年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区学習効果測定 結果の分析

- 問題の内容別正答率では、6年生は9項目中8項目において目標値を上回った。
- 領域別正答率では、6年生は3領域中3領域において目標値を上回った。
- 観点別正答率では、6年生は3観点中3観点において目標値を上回った。

	全体	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	76.8	75.3	75.0	79.7
校内平均正答率	83.0	84.8	81.5	81.3
ポイント差	△6.2	△9.5	△6.5	△1.6

【観点別正答率の分析】

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回った。 単語の意味理解やアルファベットの読み書き、単語の読みにおいては目標値を上回る結果となった。特に単語の意味理解が目標値を大きく上回った。	目標値を上回った。 日常会話の理解（聞く）や会話全体の理解（聞く）では、目標値を大きく上回った。英作文も目標値を上回った。英文の完成においては、少しだけ目標値を下回ったので、他の項目に比べて課題として残った。	目標値を上回った。 英作文は目標値を上回った。ただし、「その人ができることを表す英文を書いている。」という項目では下回った。

課題<今回の調査結果から>

- 地図を見ながら目的地までの道順を正しく書く練習をすることで、道案内の仕方や表現をできるようにする。また、道案内のときに常用する表現を理解するように指導する。
- 日頃の授業で、例文を参考にしながら身近な人について簡単な語句や基本的な表現を用いて英作文を書くことを取り入れていくようにする。